

塩尻市は、子育て支援策の充実だけでなく、税の使われ方の公平性という観点からも、現代の独身者の現実にもしっかりと暖かなまなざしを送れる市政であってほしい。

答 独身者の結婚に繋がる支援だけでなく、広く独身者への施策という新たな視点での提案なので、今後ソフト事業に取り込めるかどうか検討する。

◆塩尻の強みを生かせ

問 交通の要衝としての塩尻の強みを、企業等の誘致にもっと生かせるのではないか。

答 個別の要望に応じたオーダーメイドの対応により、企業や産業の立地を進めていきたい。

要望 県の血液製剤供給拠点の移転場所探しが難航と聞くと、塩尻市への誘致が実現するよう全力で取り組んでほしい。



小さな声を 聴く力で 市政発展を

◆骨髓バンクドナー登録

問 白血病等の血液のがんの治療法として骨髓移植がある。健康な骨髓提供者が必要だ。登録者が少なく、長野県は人口千人当たりの登録数が全国最下位だ。骨髓採取時の日程調整が課題だが、休業補償の支援策はどうか。



骨髄バンク登録推進

答 県では、本年度よりドナーの負担軽減の為、

市町村が助成制度を行った場合、一部補助金を負担する事業を創設した。本市では、年内には事業を実施したい。ドナー本人に日額2万円、企業に1万円を想定している。

◆骨髓移植後のワクチン再接種への助成

問 移植治療をすると、子どもの頃に獲得した免疫が失われるため、改めてワクチン接種が必要となるが、定期接種ではないので全額自己負担だ。助成の考えはないか。

答 県では、今年度より、造血幹細胞移植のワクチン再接種費用補助事業をはじめ、実施する市町村に対し一部補助を行う。20歳未満の者が対象である。本市は、今年度中に実施したい。

◆ごみ収集カレンダー

問 市民のCO2削減運動の過程で生み出され約15年間市民に親しまれて

きた従来のカレンダーが、突然変わり、見にくいとの苦情が殺到している。元に戻す考えはないか。

問 来年度のごみ収集カレンダーは市民の皆様の声を聞き見直す。

要望 本市は、ごみ袋の有料化を実施しているが、導入の目的は、ごみの減量と分別の意識づけだった。市民は負担に応じたサービスを受けるべきだ。経費削減より、減量・分別に資する行政サービスを考えてほしい。

◆都市計画道路東通線

問 吉田地区センターからセブンイレブン吉田店までの拡幅改良の予定は、幅員16mの整備を財源確保や地域の合意形成を図り、整った段階で実施計画の中で検討する。

◆災害時の避難所の整備

問 体育館等での避難は、長期の生活に不向き。緊



避難所に使えるトレーラーハウス

急避難から仮設住宅ができるまでの間、トレーラーハウスを利用した設備はできないか。

答 避難生活を送る上で、有効な手段だ。トレーラーハウスを取り扱う業者と災害協定を協議している。

◆液体ミルクの備蓄を

要望 乳幼児用の液体ミルクが今年の春から国内において製造販売が始まった。賞味期限の関係で備蓄は難しいとのことだが、給食の材料等に定期的に活用するローリングストックを検討してほしい。